

# 2019 年度 観光地経営講座

～ 自立的な観光地経営に向けた課題に応じた財源確保～

## ◆ご案内◆

本講座は、時季に合ったテーマに関する外部講師を招聘し、当財団の研究員が講師の方々の知見を引き出しながら受講者の皆様とも議論して、より理解を深めるスタイルにて開催いたします。

今年度のテーマは「自立的な観光地経営に向けた課題に応じた財源確保」です。特に自治体やDMOなどでは、効果的な施策を実施するための財源確保は喫緊の課題です。独自収入を高めていく方策に加え、宿泊税の導入や入湯税の超過課税など新たな財源の確保、多様な主体との連携や多様な事業形態の導入など、地域の課題に応じた財源確保や事業推進の方法などについて、外部講師による実践例もふまえて多角的に学びます。

観光行政のご担当者、観光関連団体、商工会議所のご関係者など、観光による地域振興に取り組む皆様のご参加をお待ちしております。

## ◆開催概要◆

日時

2019年7月2日（火）-3日（水）  
※2日間の受講を基本としています。

会場

（公財）日本交通公社 B1F ライブラリーホール  
東京都港区南青山 2-7-29 日本交通公社ビル  
（青山一丁目駅 1 番出口もしくは 5 番出口から徒歩 3 分）

受講料

- ①テキスト『観光地経営の視点と実践』（第2版）をお持ちでない方  
お一人様 20,000 円／税込（当財団賛助会員 14,000 円）
- ②テキスト『観光地経営の視点と実践』（第2版）をお持ちの方  
お一人様 17,000 円／税込（当財団賛助会員 11,000 円）

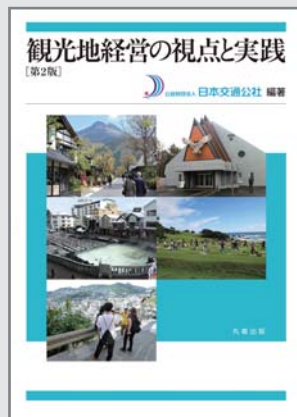
募集人数

32名（お申し込み順）

お申込

当財団のホームページからお申し込み下さい。  
6月25日（火）〆切

※定員になり次第、締め切らせていただきますので、ご了承下さい。



観光地経営の視点と実践 [第2版]  
（公財）日本交通公社編著、丸善出版、2019年

## ～ 自立的な観光地経営に向けた課題に応じた財源確保～

## ◆7月2日（火） 開講 10：30（開場 10：00）

10:30～10:40 開講・オリエンテーション

## 講義1

10:40～12:00

## 観光地経営の要諦となる9つの視点

講師：梅川 智也（（公財）日本交通公社 上席客員研究員）

12:00～13:10

昼食＋旅の図書館見学（希望者を対象に、当財団が運営する「旅の図書館」をご案内します（15分程度））

## 自己紹介

13:10～14:10

受講者の皆様に事前に提出していただく「自己紹介シート」を元に、自らの地域の課題を再確認するとともに、当日、お一人ずつ簡単にお話しいただくことで、受講者間で共有し、課題解決のヒントを見出す一助とします。

14:10～14:20

休憩

## 講義2

14:20～15:50

## DMOの強化と財源確保による阿寒湖温泉の挑戦

講師：中野 文彦（（公財）日本交通公社観光経済研究部 上席主任研究員）

15:50～16:00

休憩

## 講義3

16:00～17:00

## 今後の観光政策と観光財政のあり方（1日目総括）

講師：山田 雄一（（公財）日本交通公社 観光政策研究部長）

17:00～17:10

休憩

## 交流会

17:10～18:30

受講者同士および講師との交流

※軽食・お飲み物を用意しております。

## ◆7月3日（水） 開講 9：15（開場 9：00）

9:15～9:25 導入解説

## 講義4

9:25～10:55

## 倶知安町における宿泊税の導入とビジョン

講師：柳澤 利宏 氏（倶知安町総合政策課長）

10:55～11:05

休憩

## 講義5

11:05～12:35

まちの付加価値を高める商業施設の開発  
～北谷町デポアイランドのエリアマネジメントの取り組み～

講師：奥原 悟 氏（デポアイランド通り会 会長）

12:35～13:35

昼食

## 講義6

13:35～15:05

ソーシャルビジネスの展開による中心市街地活性化  
～“まちの縁側”を目指すフラノ・マルシェの取り組み～

講師：西本 伸顕 氏（ふらのまちづくり株式会社代表取締役社長）

15:05～15:15

休憩

## グループワーク

15:15～15:55

講義を受けてご自身の地域の課題と対応策を考えます

## 総括

15:55～16:35

講義の総括とグループワークへのアドバイスをおこないます

アンケート記入・閉講（16:45）

※講師、講義内容、登壇日は、やむを得ず変更となる場合がございます。